

2010年度

科目名	地域福祉論Ⅰ			
担当教員	新崎 国広			
配当	教福2		コード	21430
開期	前期	講時	火曜日1限	単位数
				2
授業テーマ	地域福祉の理論と実践の基本的理解を深める			
目的と概要	地域福祉論Ⅰは、地域福祉の理論と実践についての基本的理解を深めることを目的とします。特に、住民主体の原則を推進するための、地域福祉の基本的な考え方やボランティア活動、福祉教育といった身近なテーマを中心に、実践事例をまじえて講義します。また、理論的な知識学習だけでなく、ビデオ学習や事例検討等も積極的に取り入れ、学生との積極的な意見交換も行っていきたいと考えています。			
成績評価法	筆記試験(60%)とコミュニケーションカード(感想・質問)等の平常点・出席状況(40%)で総合的に評価する。			
テキスト	『新・社会福祉士養成講座』『地域福祉の理論と方法―地域福祉論―』中央法規 『施設ボランティアコーディネーションのめざすもの』、新崎国広編著、久美出版			
参考書				
履修に当たっての注意・助言	テキストを中心とした講義。適宜プリントを配布する。ビデオ学習も取り入れたい。できるだけ、課題についてのグループ討議も行っていきたい。受動的に学ぶのではなく、学生の主体的かつ、積極的な受講を期待します。			
講義計画				
第1回. オリエンテーション～ソーシャルワークの基本的視点と基本理念～ 第2回. 戦後社会福祉の発展と地域福祉の展開 第3回. 地域福祉の発展過程 1 第4回. 地域福祉の発展過程 2 第5回. 行政と住民の協働による地域福祉～「公助・共助・自助」の考え方～ 第6回. コミュニティってなに？ 第7回. 福祉コミュニティの考え方と地域福祉の主体形成 第8回. ボランティアの基本的性格と役割 第9回. 地域福祉推進におけるボランティア活動・NPO活動の役割と意義 第10回. ボランティアコーディネーションの役割 第11回. 施設ボランティアコーディネーションの理論と実際 第12回. 福祉教育ってなに？ 第13回. 福祉教育の考え方とめざすもの①（地域福祉推進における福祉教育の意義） 第14回. 福祉教育の考え方とめざすもの②（学校における福祉教育の意義） 第15回. まとめ				